






SDGs 宣言達成状況報告書

私たちは、宣言書に記載した取組目標の達成状況を次のとおり報告し、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

報告日 2022 年 2 月 1 日

| 事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿 | | | |
|--|--|--|--|
| 地域の福祉を促進するために、福祉事業の拡充やサービスレベルの向上を図り、また地域生活の課題解決にも積極的に対応することを目的とします。いつまでも幸せに暮らせる地域の未来に向けて微力ながら貢献したいと考えています。 | | | |
| 事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動 | | | |
| 当法人は「共生（ともいき）」を理念としています。「共生」は、障害の有無にかかわらず、誰もが相互に理解し合い、支え合い、尊重し合い、地域社会の中でよりよく生きていこうという考えです。その理念のもと、私たちは「障害を持つ方々の自立としあわせ」を目指しています。 | | | |
| 目標に関連する取組内容 | | | |
| ゴール | 2021年12月31日までの取組目標 | 左記取組目標の達成状況 | 2022年12月31日までの取組目標 |
|  | 放課後等デイサービスでの障害児本人への支援の他、保護者への支援も拡充させる。ペアレントトレーニングの継続実施と専門家による相談窓口の設置を行ない、より多くの方々に支援していく。 | ペアレントトレーニングについては、15回開催し、63名の受講者に参加いただいた。また、療育相談は、11回開催し、18名の保護者の方の相談を受け、多くの方々の支援につなげることができた。 | コロナが終息に向かえば、開催回数や相談件数も増加できる見込みであり、より多くの方々の支援につなげていく。 |
|  | 法人内外の研修をさらに充実させるとともに、講演会や勉強会の対象者を広げ、広く福祉に関する教育の機会を増やすことを目指す。 | 新型コロナウイルスが終息していないことから、地域の方を招いての講演会は開催できなかったが、法人内においては、専門的な研修や勉強会を積極的に開催した。 | コロナの感染状況を踏まえ、法人外の方々が参加する講演会や研修会を再開する予定である。 |
|  | LED化に加え、日々の管理の強化により、さらに省エネを推進する。 | 省エネの意識を高めることに取り組んだ。 | 法人内のLED化をさらに推進する。 |
|  | さらに働きやすく、働く意欲を持てる環境を整備していく。 | 業務改善を重点項目として法人全体で取り組み、働きやすい環境整備を推進した。 | ご利用者支援の環境整備についてもハード面、ソフト面で取り組み、職員の働きやすさを支援する。 |
|  | 地域の困りごとへの対応として、高齢の方を対象として、家庭の除草作業や買い物支援を地域貢献の一環として新たに実施する。 | 清水区の岡地区支え合いの会が運営する買い物支援や除草作業へ対応し、地域への対応を実施した。 | 実践してきた取り組みを継続するとともに、法人の資源を使用した新たな取り組みについても検討を行っていく。 |

（記載上の注意）

- 1 取組目標は3つ以上のゴールについて目標を設定し、記載してください。
- 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 3 取組目標は、出来る限り定量的に記載してください。
- 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 5 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

| | | | |
|---|--------------------|---------------------------|------|
| 1 | 事業所・団体等又は関連事業者等の名称 | 社会福祉法人 玉柏会 | |
| | | 本社が届け出る場合は、事業所（支店・営業所等）の数 | |
| 2 | 業 種 | 1 2. 医療、福祉 | |
| 3 | 従業員（構成員）数 | 75 人 | |
| 4 | 代表者 職・氏名 | 職 名 | 理事長 |
| | | 氏 名 | 海野和雄 |
| 5 | 所 在 地 | 〒 424-0301 | |
| | | 静岡県清水区宍原362 | |
| 6 | ホームページURL | https://tamagashikai.com | |